

(別紙様式 = 小学校用)

都道府県番号	35
都道府県名	山口県

【  】  
\*重点をおいた観点にチェックすること

学校名及び規模

学校名	萩市立明倫小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	4	4	4	3	27	40
児童数	144	152	151	140	146	127	10	870	

研究の概要

(1) 研究主題

研究主題：生きる力を育む教育の実践 ～主体的な学びを通して～  
教材開発に関するテーマ：一人一人の学びを伸ばす教材の開発

(2) 研究主題設定の趣旨

確かな学力の基盤となる主体的な学びが育つためには、学習の中で「感じた」「わかった」「できた」「楽しい」「またやってみたい」などの「喜び体験」が重要である。これらの喜びをより多く体験させるためには、教材研究はもとより、児童の実態や学習内容に応じた指導体制の工夫、一人一人の児童の学習状況をしっかりとつかんだ個に応じた指導・支援、そして、多面的な評価を生かした授業の改善等を行う必要がある。そして、その結果、次のような児童が育つと考えた。学習に興味・関心をもち、進んで取り組もうとする。自分が身につけている知識、技能、考え方などを駆使して、課題の解決に取り組もうとする。互いに考えを共有し合い、協力してよりよいものに高めていこうとする。そのための一つの方策として、発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発に視点をあてた上記テーマを設定した。

研究の概要(発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発に焦点をあてて)

(1) 研究推進体制の工夫

各学年4クラスあることを生かし、教師それぞれの考え方やアイデア、技術・技能を出し合い伝え合う協力体制を今まで以上に充実させ、それぞれの学年・学級の児童の実態にあった方策を工夫し、実践研究してきた。そして、成果の上がった実践を全校に伝え・広めるといった研究体制を推進してきた。また、少人数指導担当を3・4・5・6年に配置し、教材の開発に努めるとともに、少人数指導の効果的な方法を検討し、その成果を他教科に広げるようにしてきた。

(2) 研究の実際

実践例 個に応じた授業を進めるための学習プリント及び提示物の作成(5年算数科、少人数指導)

発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発をするにあたって、5年部では、以下のような考えのもと、5年算数科全10単元で使う学習プリントや提示物を作成し、それを活用した授業を進めてきた。

発展的な学習：知的な欲求をかきたてる課題や問題の提示

補充的な学習：時間的・精神的なゆとりある授業の中での個に応じた支援

学習プリントは、基礎・基本的な内容を中心とし、発展的な学習を行うためのチャレンジ問題を加えた。また、補充的な学習では、学習プリントで自力解決を促しながら、個に応じた支援を今まで以上に行う時間をつくった。作成にあたっては電子媒体で作成した。その理由としては、児童の実態による内容の修正が容易で、来年度以降も研究を積み重ねていくことができると考えたからである。

メリット ・児童も教師も授業中に時間的な余裕が生まれ算数的活動の時間が増える。  
・少人数指導においてコース別学習をしたときの基礎・基本の統一ができる。  
・教材研究における学年の教員間の話し合いの基となる。

デメリット ・教科書・ノートを使った学習習慣を育てることが十分でなくなる。

(他教科でそのねらいをカバーすることを学年で共通理解する必要がある)  
・作成に時間がかかり、その時間を他の内容の教材研究にあてた方がよい。

(下記の目次のように、全ての単元の学習プリントや提示物を作成し、活用してきた。)

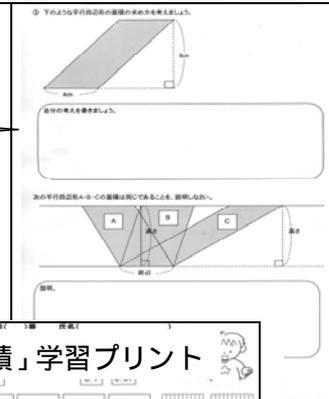
# 1 「四角形」教材・学習プリント目次

NO	時数	教科書	内容
1	1.2時①	P2.3	掲示用
2	1.2時①	P2.3	掲示用
3	1.2時①	P2.3	プリント
4	3時①	P4	プリント
5	4時①	P4	掲示用
6	5時①	P6	掲示用
7	5時②	P6	プリント
8	5時③	P6	掲示用
9	5時④	P6	宿題
10	6時①	P7	プリント
11	7、8時①	P8	プリント1
12	7、8時①	P8	プリント2
13	9時①	P9	掲示用
14	9時②	P9	掲示用
15	10時①	P10	掲示用
16	10時②	P10	練習プリント
17	11時①	P11	プリント
18	11時②	P11	掲示用
19	12時①	P12	掲示用
20	13時①	P13	掲示用
21	13時②	P13	プリント
22	14.15時①	P14	掲示用1
23	14.15時②	P14	掲示用2
24	14.15時③	P14	掲示用3
25	14.15時④	P14	プリント

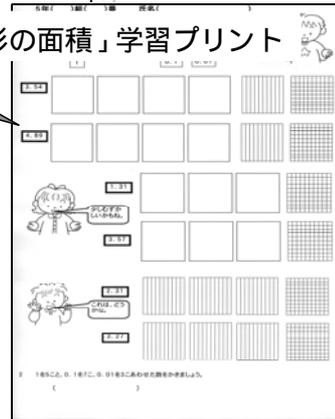
# 7 「図形の面積」教材・学習プリント目次

27	16時①	1	1時①	P2	プリント	A4	2枚
28	16時②	2	1時②	P2	掲示用	A4	6枚
29	16時③	3	2時①	P3-4	プリント	A4	2枚
30	16時③	4	2時②	P3	ヒントカード	A4	1枚
31	19時①	5	2時③	P3-4	掲示用	A4	1枚
32		6	2時④	P3-4	児童配布用図形	A4	1枚
33		7	3時①	P5	プリント	A4	2枚
34		8	3時②	P5	掲示用	A4	2枚
35		9	4時①	P5-6	プリント	A4	2枚
36		10	4時②	P5	掲示用	A3	1枚
37		11	4時③	P6	掲示用	A3	2枚
38		12	4時④	P6	掲示用	A3	2枚
39		13	4時⑤	P6	掲示用	A3	2枚
40		14	4時⑥	P6	掲示用	A4	2枚
41		15	4時⑦	P6	ヒントカード	A4	1枚
42		16	5時①	P7	プリント	A4	2枚
43		17	5時②	P7	掲示用	A3	2枚
44		18	5時③	P7	掲示用2	A3	2枚
45		19	6時①	P7-8	プリント	A4	3枚
46		20	6時②	P7-8	ヒントカード	A4	1枚
47		21	6時③	P7-8	ヒントカード	A4	1枚
48		22	6時④	P7-8	掲示用	A3	2枚
49		23	6時⑤	P7-8	児童配布用図形	A4	2枚
50		24	7時①	P9	プリント	A4	2枚
		25	7時②	P9	プリント1	A4	1枚
		26	7時③	P9	掲示用	A4	1枚
		27	7時④	P9	掲示用3	A4	1枚
		28	8時①	P10	プリント	A3	2枚
		29	8時②	P10	宿題プリント	A4	1枚
		30	8時③	P10	掲示用1	A3	1枚
		31	8時④	P10	掲示用2	A3	1枚
		32	9時①	P11	プリント	A4	3枚
		33	9時②	P11	掲示用	A3	1枚
		34	10時①	P12	プリント(基本)	A4	3枚
		35	10時②	P12	プリント(発展)	A4	3枚
		36	10時③	P12	掲示用	A4	2枚
		37	10時④	P12	ヒントカード	A4	2枚
		38	10時⑤	P12	児童配布用図形	A4	2枚
		39	11時①	P13	プリント(基本)	A4	3枚
		40	11時②	P13	プリント(発展)	A4	3枚
		41	11時③	P13	児童配布用図形	A4	1枚
		42	11時④	P13	掲示用1	A3	2枚
		43	11時⑤	P13	ヒントカード	A4	2枚
		44	12時①	P14	プリント	A4	1枚
		45	12時②	P14	掲示用	A3	4枚
		46	13時①	P15	プリント	A4	1枚
		47	13時②	P15	掲示用1	A3	3枚
		48	13時③	P15	プリント	A4	1枚
		49	13時④	P15	掲示用2	A3	3枚

# 1 「四角形」学習プリント例



# 7 「図形の面積」学習プリント



## 実践例 主体的な学習を促す個に応じた教材開発 (6年算数科、教科担任制・少人数指導)

6年の3学期に行う「小学校6年間の算数科のまとめ」の学習で、より意欲的・主体的に学習できるように共通課題の設定と、自分の力を振り返り、自分に合った問題を選択できるような教材開発を行った。

### 簡単な授業の流れ

- 1 共通課題に取り組む。  
数と計算に関する復習を行う。単なる復習ではなく、共通課題を設定し、高め合い・認め合いながら、より意欲的に学習できるようにする。

- 2 自分の学習に合った問題に取り組む。

### プリントの種類

- A : 補充的な問題
- B : 共通課題に準じた問題
- C : 発展的な問題

Aプリント (1) 数と計算① 学習プリント

6年 組 ( )

Aプリントは、レックの身!

1 【計算】→ガイドブック⑩

- ①  $7.8 + 3.1$
- ②  $2.5 \times 3.2$
- ③  $\frac{2}{5} + \frac{1}{2}$
- ④  $\frac{10}{7} \times \frac{1}{5}$

2 【小数・分数の書き換え】→ 次の数を、( ) にしたがって

- ① (分数)  $0.5$
- ② (分数)  $1.2$
- ③ (小数)  $\frac{7}{10}$
- ④ (小数)  $\frac{3}{4}$

3 【数の分解】 次の□に数字を書きましよう。

- ①  $1234 = 1000 \times \square + \dots$
- ②  $400 = 4 \times \square$

Bプリント (1) 数と計算① 学習プリント

6年 組 ( )

Bプリントはみんなで挑戦した問題と同じような問題がのせてあるよ。

1 【数の分解】 次の□にあて

- ①  $1980 = 1000 \times \square + 1$
- ②  $9100 = 100 \times \square$
- ③  $4.3 = 0.1 \times \square$
- ④ 【小数・分数の書き換え】 次の数を、( ) にしたがって
- ① (分数)  $0.33 = \dots$
- ② (分数)  $3.25 = \dots$
- ③ (小数)  $\frac{3}{5} = \dots$
- ④ (小数)  $\frac{15}{4} = \dots$

3 【小数】 次の問題を計算し

- ①  $0.9 + 2.4$
- ②  $6.3 \times 12.1$
- ③  $\frac{5}{4} - \frac{1}{2}$
- ④  $\frac{5}{6} + \frac{2}{5}$

Cプリント (1) 数と計算① 学習プリント

6年 組 ( )

Cプリントには、ちょっと難しい問題がのせてあるよ。自分で決めてチャレンジしよう!

1 【数の分解】 次の問題を解きましよう。

- ①  $7429$ の100位の数は ( ) で、100は ( ) である。
- ②  $972 = 100 \times ( ) + 10 \times ( ) + 1 \times ( )$
- ③  $0.268 = ( ) \times 2 + ( ) \times 6 + ( ) \times 8$

2 【分数・小数の書き換え】 次の数を、分数は小数に、小数は分数に書きかえなさい。約分する場合は、約分もすること。

- ①  $\frac{3}{10} = ( )$
- ②  $3.45 = ( )$
- ③  $\frac{5}{10} = ( )$

3 【計算】 次の計算をしなさい。□がある式は、□の中の数字を求めなさい。

- ①  $3.68 - 0.745 + 2.45 - 0.255$
- ②  $12 \times \frac{3}{12} + \frac{4}{11}$
- ③  $2.4 - \square \div 2 = 1.6$  □ = ( )
- ④  $4\frac{1}{2} \times 2\frac{1}{7} \div \square = \frac{5}{6}$  □ = ( )

実践例 算数科学習の大きな基盤の一つとなる「かけ算」における、多様なコースを設定する教材開発

小学校2年生算数科学習のかけ算九九は、児童が意欲的に取り組むことができる学習である。しかし、長期間の学習であり、また、九九の構成の理解につまずいたり他者と自分の習熟度を比較したりして、学習意欲が低下することがある。そこで単元の途中に学級の枠を越え、隣接学級や学年での学習の場を設定し、多様なコース（上がり九九、とび九九、計算問題、文章題、問題づくり）を設けて学習を行い、児童の意欲を喚起し学ぶ楽しさを味わせた。また、多様なコースの設定の中で、より個に応じた支援をするために、保護者に支援者として協力していただく工夫をした。



（保護者の支援の様子）

支援や評価の方法等、事前の打ち合わせには時間がかかったが、児童の意欲の向上及び意欲の持続に役立った。

（3） 研究の成果と課題

（成果）

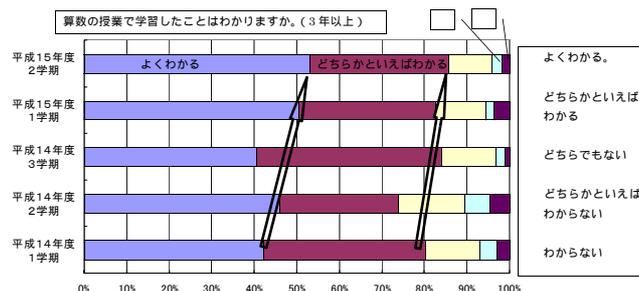
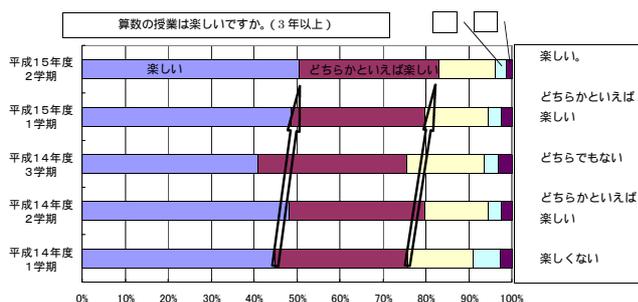
実践を通しながら学習材の工夫開発を行うことにより、意欲的に学習に取り組む子どもが増えてきている。

子どもたちの学力を随時評価しながら、個人差に応じた教材開発に努めることにより、学習好きの子どもが増えてきている。

計画的な始業前の学習により、既習の学習内容が定着してきている。

少人数指導を3年生以上の全クラスで実施したことにより、個に応じる学習の検討を行う中で、指導者側の意識が変わった。

児童による授業評価を実施したことで、より楽しい授業・よりわかる授業のための教材開発への糸口が見えてきた。



評価テストの結果

	思考	表現・処理	知識・理解	平均
平成14年度1学期	83.0	87.5	87.0	85.8
平成14年度2学期	85.6	91.2	92.0	89.6
平成15年度1学期	83.9	87.8	89.0	86.9
平成15年度2学期	87.9	93.0	90.3	90.4

（課題）

個に応じるため、単元や教材ごとに、より効果的な学習過程や教材をつくりだし、児童の学習意欲を高める必要がある。

授業改善を図るためには、児童の学習の状況を確実につかむ評価規準や評価方法について検討していく必要がある。

実践研究した成果を、中心教科だけでなく、他教科や領域等に広げる工夫が必要である。

個に応じた各種実践を行うには、打ち合わせや教材をつくる時間を確保するための工夫が必要である。

保護者との連携を一層深める必要がある。

（4） 研究成果の普及の方策

校内授業研究会は、萩教育事務所管内の全ての小中学校に案内をし、毎回他校からの参加者があった。

平成16年2月10日 学力向上フロンティア地区協議会にて授業公開

本校での実践を広める方策の一つとして、本校で作成した学習プリント・提示物（電子媒体を含む）や指導案とともに、他校の実践を集約し、市内全体の指導案集・教材集づくりを計画している。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校

【学校規模】  6学級以下  7～12学級

13～18学級  19～24学級

25学級以上

【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導

一部教科担任制  その他

【研究教科】  国語  社会  算数  理科

生活  音楽  図画工作  家庭

体育  その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無

【特色ある取組事例としての紹介したいポイント】

算数科で使用する学習プリントや提示物の学年部による作成

算数科における補充的な問題、共通課題に準じた問題、発展的な問題の作成

学習プリントや提示物の充実及び共有化に向けた他校との連携の予定